

序章 教育・指導の原点

どのような領域であれ、およそ教育・指導関係というものは、愛に裏打ちされた優しさ、その優しさに支えられた厳しさがなくては成り立ちません。即ち、優いさと厳しさは、教育・指導における要^{かなめ}の両輪です。しかし、この両輪が、いったいどのように絡み合っていることを実現するのでしようか――。それを垣間見せてくれたある母子との邂逅を描いたエッセイ、まずはそれを冒頭に置いて、本書を始めることにいたします。

次いで、私の中学・高校時代の恩師たちのエピソード。私が教師権威の研究者となった原点でもあります。